

第 163 号

発行日
2026. 3. 9

Super Highway

春闘速報 11

J R 東労組バス関東本部

申 8 号 第 1 回団体交渉 要旨

冒頭、組合より申し入れについての趣旨説明を行う。

会社認識

- ・物価高・人手不足・日本全体の賃上げ傾向が強まっている。2026 年も過去最高水準に匹敵する賃上げ率となる見通し。大企業が賃上げを牽引しており、当社との格差が明確になってきた。基本姿勢は例年と同じで「会社の成長度合いで新賃金を決める」。中東情勢など不確実要因はあるが、指標としては上向き方向と見ている。ベアは業績連動とは言い切らないが、「将来を見据えた投資」として理解してほしい。
- ・昨年は当社として過去最高額のベアを実施した。しかし、コロナ前の収支状況にはまだ回復していない。バス業界全体の構造的課題が解決されない限り、明るい展望は描きにくい。業界内の「対立」から「融合」へ舵を切る必要がある。アライアンスパートナーと共に新しいバス事業を進めている。経営計画、エンゲージメント向上の基盤は「成長に定める賃金」。ただし、賃金が会社の成長を阻害する水準になると逆にエンゲージメントは下がる。よって「成長度合いに見合った賃上げ」を実施するという立場。組合員の努力により第三四半期で業績を上方修正できたことに感謝している。その点は賃金にも「加味する」考えがある。人材流出は望んでおらず、社員を大事にしたい。
- ・57 歳減額是正・65 歳定年延長について、重要であると認識。時間をかけてしっかり検討したい。5 項については会社と組合で「認識の相違」がある。ルールの中で全員賃上げしたというのが「完全実施、した」という認識である。



今後、会社と真摯に議論していきます！

J R バス 関東で働く仲間を一つに！